

はぐルッポ通信 第105号 2024.1.12



ルッポ

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

令和6年は震災という幕開けて穏やかではいただけませんでした。被災された方々にお悔みとお見舞いを申し上げます。世の中何が起こるか予期できませんが、一人ひとりの人が少しでも幸せに向かっていけることを願います。明治開国のころ、日本を訪れた外国人は一様に「なんて子どもたちが幸せそうなんだ」と驚いたと言います。子どもは宝ものですが、特にこの国では昔から、子は親にとってだけでなく、村の宝、地域の宝、国の宝、人類みんなの宝ととらえてきました。今年の干支「甲辰（きのえたつ）」は「春の日差しがあまねく成長を助く年」だそう。それにあやかって、子どもたちの活力が高まっていく世の中にしたいです。（糸井）

片寄蒼穹先生から書を寄贈いただきました

書道家・毎日書道展会友の片寄蒼穹（かたよせそうきゅう）先生から、貴重な作品2点を寄贈していただきました。相談室と玄関に飾らせていただいています。新春にぴったりの書です。はぐルッポの子どもたちにと特別に書いてくださったものですので、来所の折にはぜひご覧ください。

春山茂春月明

〈読み方〉春山茂りて、春月明るし（しゅんざんしげりて、しゅんげつあかるし）

〈意味〉春の山は草木が茂り、春の月が明るい。

〈書体〉新古隸（隸書体の一つ）

〈先生による解説〉

冬の厳しい寒さが過ぎ、三月、四月と少しずつ暖かくなってくると野山の草花は一斉に芽を出し、或いは日に日に緑を濃くしてきます。四月頃の月は文部省唱歌「朧月夜」に歌われているように、黄砂等の影響により、くっきりした月ではなく、どこかおぼろげな月がイメージされるかと思います。でも、いつもかすんでいるわけではなく、すっきり晴れ渡った日の月は地上を明るく照らしてくれます。春、野山の草花が一斉に芽吹き萌えていく様は、自分たちにそこはかたなく何かに立ち向かっていく力になる、わくわくさせるものがあります。それと併せて、暗い夜を明るく照らす月は夜道を歩くものにとって有難いものです。

萬物生光輝

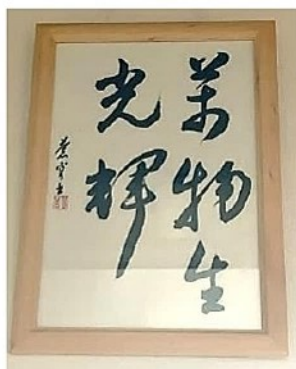
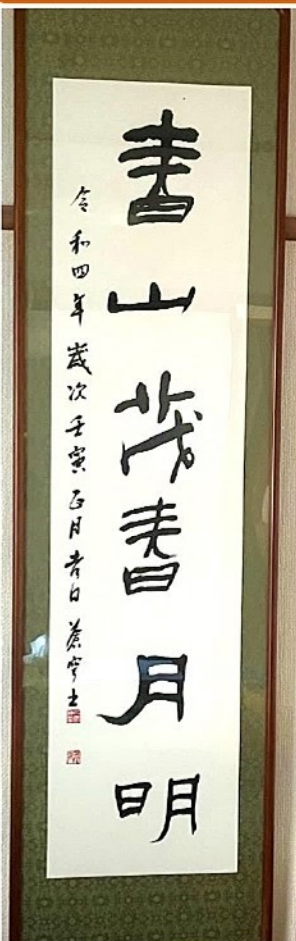
〈読み方〉萬物光輝を生ず（ばんぶつこうきをしょうず）

〈意味〉「万物生光輝」は、春の陽気があらゆるものに恵みを与え、万物が生き生きとすることを表わす句です。また、文字通り、すべてのものが輝く、もしくは、悟りによって、輝きを知るといふ禅語の意味でも好まれています。

〈書体〉行草体（行書と草書の混合書体）

〈先生による解説〉

はぐルッポに通ってくる児童生徒一人ひとりが自分のやりたいことを見つけ、自分らしく生きて欲しい、一人ひとりの存在は何にも代えがたい、唯一無二の存在であることを感じ、生き生きと輝いて欲しいという思いを込めて書かせてもらいました。





クリスマスケーキつくったよ!!



未来学舎パティシエ・ブーランジェ学科で、学生の皆さんと一緒に、クリスマスケーキ作りを体験させていただきました。直径10cmのケーキ台に生クリームを塗って飾りをつけて、オリジナルのケーキを作り、一人ずつお持ち帰りました。おうちの方に見せてから、一緒に食べたのかな？ (12/22)



未来学舎のみなさん、ありがとうございました!



往復タクシーに乗り合わせて行ってきました。



クリスマスの飾り付け



荒井先生からいただ大きなクリスマスツリーに飾り付けをしました。

クリスマスリース
小さなサンタさんがついて
います。



木のトナカイが玄関前でお出迎え。

Aさんがかわいい雪ダルマを作ってくれて飾りました。

